



生徒が自ら考えました！

2025年2月3日から！

内閣府と 学校・企業が連携し 沖縄交通リ・デザインの 実証実験を行います！



会社横断で議論しました！

首里高校の皆様、琉球銀行・沖縄銀行・沖縄海邦銀行の皆様のご協力のもと、様々な社会課題の原因となっている「渋滞」の解消を目指し、首里地域において、通学・通勤の仕方を変える実証実験を行うことになりました。

首里高校での実証

首里高校では、それぞれの生徒が下記から選んだメニューに取り組みます。

- ✓ 通学時の公共交通利用
- ✓ 送迎場所を学校から離れたところに変更
- ✓ 徒歩や自転車での通学
- ✓ 早朝通学

【実証期間：2月3～7日】

琉球銀行・沖縄銀行・ 沖縄海邦銀行での実証

銀行では、それぞれの従業員が下記から選んだメニューに取り組みます。

- ✓ 通勤時の公共交通利用
- ✓ 徒歩や自転車での通勤
- ✓ 時差出勤

【実証期間：2月3～21日の一部】

※ 各銀行によりメニュー・期間は異なります

実証期間中は、人の流れが通常と異なる可能性があります。
ご協力の程、よろしくお願いいたします。

実証実施の背景・目的

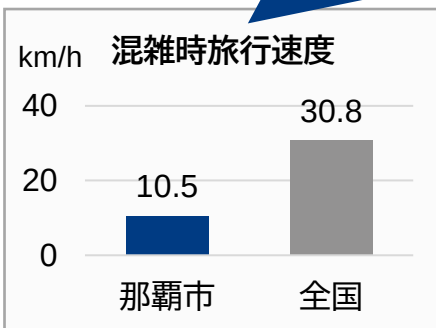
内閣府では、沖縄に住まう方主体のもとで沖縄交通リ・デザイン(再構築)に向けた取り組みを推進しています。

沖縄では、通勤、通学、買い物など自家用車中心のライフスタイルがこれまでの成長を支えてきた一方で、沖縄の生活・社会、ビジネス、観光の質の低下に繋がる様々な課題が生じています。

こうした課題を解決するべく、自家用車利用に依存したライフスタイルからの転換を目指す機運醸成、取り組みの輪の拡大を目指しています。



那覇市は全国に比べ、移動に時間がかかっている...



出典:令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査

今回の実証の位置づけ

「交通渋滞」の解決は一朝一夕に実現するものではありません。今回の実証を先進事例として、長期的な目線で交通渋滞や、そこから派生する経済・環境などに関する社会課題の解決を目指します。

今後の取り組みの展開

今回の実証

長期:経済・環境などに関する社会課題の解決

中期:他の学校や企業との連携・取り組み拡大

短期:先進的な取組事例

「第1回 沖縄交通リ・デザイン シンポジウム」を開催します！

2025年3月に、今回の実証を始めとする交通リ・デザインに関する取組を紹介するシンポジウムを開催します。詳細が決まり次第、内閣府沖縄総合事務局ホームページ等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

内閣府沖縄総合事務局ホームページ
「沖縄交通リ・デザインに向けた取組」紹介サイト
<https://www.ogb.go.jp/unyu/9280/okiko-ridezain>



【お問い合わせ先】
内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室
TEL:098-866-1812

これまでの取組や県民の皆様の声をご紹介しますので、ぜひご覧ください！